

学びのR

No. 24 (令和2年3月)
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

*** 「主体的・対話的で深い学び」で授業改善⑭ *** ～ 「考え、議論する道德」を目指して～

今回は、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、道德科の授業改善を考えます。

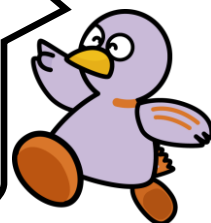
道德科は、学校の教育活動全体で行う道德教育の「要」となる時間です。
「道德教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うため、道德的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を（物事を広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の生き方（人間としての生き方）についての考えを深める学習を通して、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことを目標としています。※（ ）中学校



Q 「考え、議論する道德」が大切とされています。
具体的にどのようなことに注目すればよいのですか？

A 「主体的・対話的で深い学び」を実現することが、「考え、議論する道德」を実現していくこととなります。

「主体的な学び」・・・問題意識を持ち、自分自身との関わりで考える 等
「対話的な学び」・・・物事を広い視野から、多面的・多角的に考える 等
「深い学び」・・・道德的問題を自分事として捉え、議論し、探求する過程を重視する 等



Q 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、具体的な手立てにはどのようなものがありますか？

A 「主体的な学び」には、児童生徒一人一人の実態把握、意図的な指名、個人で考える場の工夫等、の手立てがあります。また、「対話的な学び」には、他者や教員、教材との対話、多様な意見を認め合う学習等、の手立てがあります。そして、登場人物への自我関与中心の学習、問題解決的な学習、道德的行為に関する体験的な学習等、の多様な指導方法を通じて、道德的な問題を自分事として捉え、議論し、自己の（人間としての）生き方について考えることが、「深い学び」となります。

それでは、具体的に1時間の中で、どのように改善していけばよいか、**裏面をみてみましょう！**



○ 普段の授業をリフォームしてみましょう！《改善例》

埼玉県小・中学校教育課程編成要領より

	学習活動・主な発問	予想される児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 インターネットやSNSなどでトラブルになったことはないか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 書き込みをしてトラブルになったことがある。 相手からの返信内容が怖いと感じたことがある。 	導入では、児童生徒が問題意識をもつようにします。短い時間で、端的に行いましょう。
展開	2 課題を設定する。 インターネットの世界でトラブルを起こさないためには、どんな心が必要か。 ・教材の読み聞かせを行う。 3 課題について話し合う。 (1) A選手に批判的なユーザーとの論争の中で、加奈子はどのような気持ちだったのだろうか。 (補助発問) 顔を合わせた討論だったら、ここまで言うだろうか。	発問が書いてあるワークシートに自分の考えを書かせて、発表させるだけの授業では、「話し合い」にはなりません。	1時間を貫く学習課題を設定することで、児童生徒がより主体的、ねらいに迫れるようになります。
	補助発問を活用し、 <u>多面的・多角的な視点</u> から話し合いを進めます。	児童生徒が共に考え、話し合う活動を通して、自分の考えが深まるようにしましょう。	《話し合い活動の工夫(例)》 ①座席配置を[コの字型等]に変える。 ②心情円盤等のグッズを活用し、心の内を可視化する。
	一つの価値観で決めつけるのではなく、他者と対話したり協働したりする学習を通して、多様な価値観の存在に触れるようにしましょう。		学習課題について自分との関わりで捉え、自己を見つめ直す時間です。この時間が確保できるように、学習活動を精選しましょう。
終末	4 これまでの自分を振り返り、授業で学んだことやこれからの自分の生き方について道徳ノートに書いてみよう。	<ul style="list-style-type: none"> これからの情報化社会の中で、相手の考えを尊重し、寛容な心を忘れずに生活していきたい。 	

Q 道徳科の評価で大切なことは何ですか？気を付けることは何ですか？

- A 指導に生かし、児童生徒の成長につながる評価をすることが大切です。具体的には、次のようなことに気を付けます。
- ①道徳科の授業中のことについて記述する。数値化はしない。
 - ②学習活動に着目して、学習状況や道徳性に係わる成長の様子を継続的に把握する。
 - ③個々の内容項目毎ではなく、大きくくりなまとまりを踏まえる。
 - ④いかに成長したか、認め励ます個人内評価を行う。
 - ⑤道徳性の評価は行わない。等

子供たちと一緒に生き方を語り合う、楽しい道徳科の時間にしましょう。

「学びのR」は
 こちらからも御覧
 いただけます！

